

風俗也。○中略

右北陸道七ヶ國之風儀區々也トイヘドモ若狹越前之風儀一入不好也其善惡ヲ數ヘテ虚實之風儀ヲ得道ヲ而是ヲ治トモ是ヲ取トモ工夫而其僻スル處之者ヲ正道ニナスベキモノ也唯其名目名聞ニ從テ是ヲ執行バ國ニ奸佞之人月ニ從ヒ年ニ積テ終ニ益正儀ヲ可失也

名所

〔日本鹿子〕十同○若狹國中名所之部

後瀨山ノチセ 當國の北海邊にある山也新後撰冬のうたに侍從公世

今朝のまにふりこそかはれ時雨つ、後瀨の山のみねのしら雪

青羽山 水鳥の青羽の山は名のみして露霜をけば色付にけり

三形原 海邊にある原也三形海と云もをなじ所の浦也

戀しくばかたみの原を出て見んまた朝がほのはなはさくやと

巢立山 小濱 泊舟 黒摘

雜載

〔延喜式〕兵部諸國健兒○中略 若狹國卅人○中略

諸國器仗○中略 若狹國横刀二口、弓十六張、征箭十六具、胡籬十六具、

〔日本書紀〕六三年三月新羅王子天日槍來歸焉中略一云(中略)自近江經若狹國西到但馬國則定住處也

〔古事記〕仲哀故建内宿禰命率其太子爲將禊而經歷淡海及若狹國之時於高志前之角鹿造假宮而坐

坐

〔續日本紀〕八元正養老三年十月戊戌滅定京畿及七道諸國軍團并大少毅兵士等數有差但志摩若狹淡路三國兵士並停